

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 13

平成29年3月13日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	J Aしまね出雲地区本部の柿リース団地の植栽始まり、長期保存冷SCS蔵庫も完成！ ～「平田の柿産地 活性化プラン」達成に向けて確かな歩み～
-----	--

(ダイジェスト)

3月7日、J A柿リース団地 (4.8ha) の植栽が入植者3名により開始されました。当日は、平田柿部会やJ A出雲地区本部が植栽支援を行うとともに、農業技術センター技術普及部及び当農業普及部で植栽指導を行いました。

また、3月3日には、干し柿100万個生産のための原料柿長期保存SCS (スーパークーリングシステム) 冷蔵庫も完成し、「産地活性化プラン」が目指す販売額目標4億円産地づくりに向け、確かな一歩を踏み出したこととなります。

この度、昨年12月に着工した「J A柿リース団地」の基盤整備がほぼ終了し、3月7日から、入植者3名 (うち2名、認定就農者) による植栽が始まりました。リース団地は10区画のほ場からなる団地で、今回、2区画 (約350本) の植栽が行われ、3月22日までに約2,600本が植栽される予定になっています。

また、干し柿加工の増産のため、国庫事業の産地パワーアップ事業を活用して、原料柿長期保存SCS冷蔵庫も3月3日に竣工式が行われました。

リース団地とSCS冷蔵庫は、平田柿部会60周年記念式典 (平成27年9月開催) で、

同部会から提案された「平田の柿産地 活性化プラン」の具体的対策として整備されたものです。

活性化プランではこの他にジョイント栽培による早期成園化、SS (スピードスプレイヤー) の共同利用化など多くの支援策が計画的に実施されることになっています。

当農業普及部としても平田の柿産地の更なる発展を支援するため、リース団地の早期成園化、今年度、本格的に導入されるジョイント栽培 (2戸、約40a) の技術確立を目指した普及活動を行っていく予定です。



入植者による植栽(1区画223本のほ場)